



Plastic Base Ten Blocks

ベーステンブロック ミニパック

アクティビティガイド

基本の10

はじめに、単体キューブが1とすると、棒ブロックは10個のキューブ、平らなブロックは100個のキューブでできていることを説明してください。ブロックには、キューブの数が分かるようにラインが入っているので、キューブの数を子どもは自分で数えて確認することができます。単体キューブの右側に棒ブロック、その右側に平らなブロックを並べて、左から順にキューブの数が10倍になっていることを見せましょう。それぞれ見比べてもらい、子どもに違いや共通点を見つけてもらいましょう。

数字を書く

キューブの数が合計で100を超えないように、単体キューブや棒ブロックをテーブルに置いてください。テーブルに置いたキューブの数を子どもに自由な方法で数えてもらいます(1ずつ、10ずつなど)。

次に、数えたキューブの絵を描いてもらい、キューブの合計数を紙に書きましょう。描いた絵を子どもと一緒に見て、数え方について話しましょう。

2桁の数え方

単体のキューブを10個と棒ブロックを1本用意します。10個のキューブと1本の棒ブロックは、キューブの数が同じであることを説明します。それぞれを実際に指差しながら数え、子どもに自分の目で確かめてもらいます。11～19を数える際は、棒ブロックの横にキューブを並べて数えます。このように並べて数えることで、2桁の数字は10の位と1の位で構成されていることが分かり、2桁の数が数えやすくなります。100まで数えることに慣れたら、平らなブロックと棒ブロック、キューブを使ってさらに大きい数字にチャレンジしましょう。

たし算とひき算

キューブを使って、2桁と1桁のたし算($43+4$ 、 $68+5$ など)や、2桁のたし算($58+20$ など)をします。子どもに問題を出し、キューブや棒ブロックを使って解いてもらいましょう。たし算に慣れたら、ひき算にもチャレンジしましょう。計算式によっては10個のキューブを1本の棒ブロックに交換する必要があります。適切なタイミングで説明してあげましょう。(くり上げ・くり下げ)



発売元：
株式会社ドリームブロッサム
880-0123 宮崎市芳士607
TEL: 0985-72-6622
www.dreamblossom.jp

**Dream
Blossom**